

新番組紹介 番組情報

★もみの木ハウスへようこそ
 放送日:毎週金曜16:35~ 再放送:毎週日曜9:30~・21:45~
 提供:株式会社もみの木ハウス・ひょうご
 出演:(株)もみの木ハウス・ひょうご 代表取締役 藤田泰弘さん
 聞き手:西岡志保

もみの木ハウスは、家族が健康的に暮らすための家をコンセプトに、もみの木の持つ特性を最大に活かした家づくりを提案します。もみの木の魅力はもちろん、リフォームなどをお考えの方へのアドバイス。時には、社長の魅力も深堀りする番組です。

★あめんぼあかいなあいうえお
 放送日:毎週火曜19:00~ 再放送:毎週金曜23:00~ (隔週再放送)
 提供:公益財団法人三木市文化振興財団
 出演:みき演劇セミナー生

2024年3月まで放送しておりました「あめんぼあかいなあいうえお」がひと月お休みをいただき、復活いたします。これまで以上にパワーアップした内容でお送りします。

FM MIKI 76.1MHz エフエムみっきい
 [発行] (株)エフエム三木 〒673-0493 三木市上の丸町10-30
 TEL:0794-86-0761 FAX:0794-86-1761
 E-mail:761@fm-miki.jp URL:http://www.fm-miki.jp/

バナー広告 募集

会社紹介・イベント情報・求人広告などにご活用下さい。
 ※掲載サイズ・掲載期間などご相談に応じます。

お問合せ:株式会社エフエム三木
 TEL:0794-86-0761
 メール:761@fm-miki.jp

プロのこだわりを満足させる確かな品質
広告募集中
 「かみらぢお」に広告を出してみませんか
 お気軽にお問合せください

お墓じまい
 石碑1基8万円より~ 見積り無料!!
 墓守がいなくなると、お墓は無縁墓になってしまいます。無縁墓にならない為に、墓じまいをしたいと考えている方が増えています。
 お墓の解体・処分・遺骨の改葬はお墓の山石にご相談下さい。
 信頼と実績 安心のお付き合い
お墓の山石 ☎0120-1482-77 **お墓の山石**

大型連休に伴う特別編成のお知らせ 番組情報

4月29日(月・祝)・5月3日(金・祝)・5月6日(月・祝)の3日間は特別編成でお送りします

8:00~	リメンバーミュージック
10:00~	録音企画番組
10:15~	生放送「みくらぢホリデー」
12:30~	通常編成
15:00~	特別番組(詳細は別途)
19:00~	通常編成
20:00~	みっきいミュージックタイム
20:30~	通常編成

*生放送「みくらぢハチヒル・サンナナ・三木市の窓」はお休みとなります。

大型連休特別番組のお知らせ 特番情報

5月3日(金・祝) FRI 金

みっきいミュージックタイム
 【放送時間】15:00~

今年デビュー35周年を迎えた東京スカパラダイスオーケストラの特集でお送りします。人気曲から隠れた名曲までノンストップでお送りします。

ラジオドラマ 「~天下人に仕えた吉川の戦国武将~渡瀬好光伝」
 【放送時間】17:00~
 出演:みき演劇セミナー生

戦国時代、現在の兵庫県立吉川高校あたりにあった渡瀬城の城主渡瀬好光の半生。三木合戦をきっかけに時代の波に翻弄される渡瀬家。吉川でただひとり織田方についた渡瀬好光。三木合戦時、敵味方になってしまった弟への兄弟愛を中心に、夫婦愛、郷土愛を描きます。

5月6日(月・祝) MON 月

ラジオドラマ「三木出身の大学者 藤原惺窩物語」
 【放送時間】15:00~
 出演:みき演劇セミナー生

現在の三木市細川町で冷泉家の三男として生を享けた藤原惺窩。儒学者となり朱子学を学び、完成させた近代儒学は、江戸幕府体制に大きな足跡を残し、儒学の祖となった偉大な半生を描いています。

高橋誠のラヂオSONGS~昭和の懐メロ・パート1~
 【放送時間】17:00~
 出演:高橋誠

エフエムみっきいの特別編成時の名物となってきました高橋誠さん制作の音楽番組。毎回テーマを決め、高橋誠さんが持つ多種多様のジャンルのコレクションから至極の1曲をセレクトしてお送りします。今回のテーマは「昭和の懐メロ」昭和レトロは現在、若者にもブームが訪れています。世代を超えてお楽しみください。

インターネットサイマルラジオ おしらせ

エフエムみっきいの放送がインターネットでもお聴きいただけます。エフエムみっきいHPのJCBAインターネットサイマルラジオのリンクからお聴き下さい。

↓このバナーが目印です

JCBA インターネットサイマルラジオ
 Internet simul radio

サイマルラジオ URL : https://www.jcbasimul.com/radio/838/

さるとるの三木てくてくマップ 企画番組

放送時間:火10:00~/土23:15~ 【提供:三木市観光協会】

二皇子伝説と金水

今回は、志染の旧跡志染の石室(いわむろ)と窟屋(いわや)の金水です。

この地に伝わる二皇子伝説は、古事記、日本書紀にも記載があり、一度、しっかりとリポートをお届けしたいと思っていました。

というわけで、久しぶりにご登場いただいたのは、三木市市史編さん室の廣井さん。

志染っ子の僕にとって、小さなころから、馴染みのある場所ですが、不思議に思っていることがいくつかあったのでぶつけてみました。

例えば、王位継承争いで逃げてきたということなのですが、なぜ、都(当時は奈良)から遠い志染だったのか。もう一つは、水の張っている洞窟に隠れ住むなんてできないじゃないですかということ。

後者については、当時は水が張ってなかったか、張っていても、一部だったんだろうということ、なんとなく納得(笑)

さて、前者。なぜ志染だったのか。聞いて感激しました。この志染に、当時の皇家の方の親類・縁者が「いたんだ」ということなんです。「なるほど!」と胸につかえていたものがとれたような気がするとともに、歴史ロマンを改めて感じるのでした。

薬屋さんの健康コラム コラム

今回は、健康被害が報道された小林製薬のサプリメント「紅麹」問題について書いてみます。

報道や、厚労省での議論を見ていると、「健康被害の情報があれば、企業が速やかに国に報告するよう義務付けるべき」「機能性表示食品の認可が厳しくなかったのが問題だ」「製造時の品質を担保する規制が必要」といった議論が中心です。

残念ながら、そうしたやり方で今後の健康食品による健康被害を回避することはできないと思われます。

日本の場合、被害の報告や副作用情報の収集は、医療用医薬品においても十分機能していません。今回の被害でも、プベルル酸が本当に原因かどうかの研究結果は出ておらず、今後それが叶う見立てすらありません。認可を厳しくしたり、製造時の品質を高めたところで安全にはなりません。騒がれていないだけで、健康被害や入院に至る被害は、多くの健康食品や生薬・漢方薬で毎年出ています。

ではどうすれば…と考えたとき、海外諸国での規制や文化、WHOなどの提言が参考になると思います。

健康のために何かしようと思ったとき、どういった方法や選択肢があり、そこで期待できる効果やリスクについて知ることです。WHOなどの国際機関は、信頼できる医療従事者との交流を重視しています。皆さんは、日常的に何でも相談できる「かかりつけの薬剤師」を持っていますか?

高橋秀和
 あおば調剤薬局 薬局薬剤師
 三木市末広1-7-15
 TEL:0794-78-0300

役立つ防災情報をみなさんへ コラム

こんにちは。兵庫県防災士会の室崎です。今回は災害時の連絡について、みなさんにクイズを出題します!

クイズ ~大災害発生!電話が通じない!!~

地震など大災害発生時は、電話がつながりにくい状況が続きます。安否情報などを音声メッセージで録音・再生できる災害用伝言ダイヤルの番号は?

①117 ②171 ③177

正解は… ②

大地震のほか、台風や集中豪雨などによる大規模な風水害発生時に開設される災害用伝言ダイヤルの番号は171(イナイ)。電話の輻輳(ふくそう)状態が5日間も続いた阪神・淡路大震災をきっかけに開発されました。使用する際は「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行います。メッセージの録音・再生は、電話番号をキーにして行いますが、自宅の電話番号なのか携帯番号なのか、家族と話し合ってキーにする電話番号をあらかじめ決めておきましょう。

毎月1日と15日は、災害用伝言ダイヤルが体験利用できます。家族と使い方を事前に確認し、もしものときに慌てずに利用できるようにしておきましょう。

室崎友輔 Murosaki Yusuke
 兵庫県防災士会理事長・地域防災プランナー・防災士
 アウトドア防災アドバイザー・ひょうご防災特別推進員
 神戸常盤大学・神戸学院大学非常勤講師

走れるのに歩くな、歩けるのに走るな コラム

皆様、新しい季節をどのようにお過ごしでしょうか。新しいことをやってみようと思つたときの浮き立つ方もおられるでしょう。かくいう私は、未経験のことに挑戦するのが大変好きです。中でも全く新しい分野に身をおいてみると、新鮮な発見と共に既存の知識や経験ともつながっていることがあることに気がついて感慨深いです。過去、四十歳を過ぎて全く未経験のサックスを始めたことがあります。

教室で習い始めて数年経った頃、三木市の吹奏楽団に所属させていただきました。そこで指揮者さんが「ものを言うことができるスピード」というお話をされていたのが興味深かったです。それは、演奏の実力を越える速いスピードで演奏をすると、楽器同士のハーモニーがきちんと整っているか、楽譜の指示通り音の強弱などの表現が来ているか、その過程で楽団の一人ひとりが持っている魅力的な音や表現が発揮できているか、という演奏の過程が置いてきぼりになってしまう。楽譜指定のスピードより多少遅くても、皆の現実にとって無理のないスピードで、演奏の中身を大切にしましょう、というお話でした。

「走れるのに歩くな、歩けるのに走るな」という言葉を聞いたことがあります。今の自分に必要なのは、走る事なのか、歩く事なのか。それを少し力を抜いたところで加減を見計らうことは、生活において大切なことだと感じています。

牧野 仁
 浄土真宗本願寺派(西)報恩寺住職
 報恩寺悩み事相談「トオチカ」 https://toochika.houonji.jp/
 Youtube「報恩寺チャンネル」